

[メッセージ]

MESSAGE

by Water-n

Vol. 13

水Lab.
Vol.11

アナザー・ジャパン

水 に向き合う若き研究者や学生たちの活動にスポットを当て、水を学ぶ楽しさと醍醐味を教えてください連載「水Lab.」。第11回は、学生主体で運営される地域産品セレクトショップ「アナザー・ジャパン」に注目。プロジェクト担当者の三菱地所株式会社TOKYO TORCH事業部の加藤絵美さんと、学生メンバーで店の運営を担当する佐々春奈さんにお話を伺いました。



中部地方を担当するアナザー・チュウブの佐々春奈さん(富山県出身。富山高等専門学校国際ビジネス学科2年生)。アナザー・チュウブのほかのメンバーは、鈴木乃子さん(岐阜県出身。中央大学国際経営学部2年)、池田彩月さん(長野県出身。立教大学観光学部3年)。

加藤さん 2022年8月、銭瓶町ビルディングの1階にオープンした「アナザー・ジャパン」は、三菱地所と中川政七商店がプロデュースする47都道府県の地域産品セレクトショップです。その特徴は、学生が主力であること。仕入れや収支管理、店舗づくり、接客からプロモーションまでのすべてを学生主導で行い、若い世代のより実践的な経営経験の場としてはもちろんのこと、東京から地方への新たな価値還元の仕事の創出を目指しています。

佐々さん 私がこのプロジェクトを知ったのは、中川政七商店さんのSNSでした。昔からものづくりや工芸品に興味があり、ぜひ参加したいなど。当時、私は高専1年生の16歳だったんですが、「一応学生」なのでエントリーさせてもらって(笑)。運良く合格できたので、高専は休学し、住んでいた富山県から東京に引っ越してきました。

加藤さん すこい行動力ですね(笑)。16歳と聞いたときはとても驚きでしたが、本当に楽しそうに取り組んでくれているので、参加してくれて良かったと思っています。

佐々さん 私は富山県出身なので、中部地方の企画展を担当しています。コンセプトは「チュウブって何部?」。中部地方はひとつの地方ですが、北陸・甲信越・東海という3つの地域に分かれ、自然も文化も多様です。そこをどうPRするか考えたときに、「中部の『部』には『分ける』」という意味があることに着目しました。中部地方は確かに、文化や自然、周波数など、いろいろなジャンルの「分け目」なんです。そのイメージがすこししっくり来て、そこに学生ならではの「部活動」というキーワードをかけ合わせました。

加藤さん 佐々さんら中部担当の学生メンバーのアイデアで、ジャンルを「漆部」「繊維部」など16の「部活動」に分け、約450点の商品をラインナップしています。商品のリサーチや仕入れはもちろん、PRや商品政策、レジ周りのオペレーションもすべて学生が行い、私たち三菱地所や中川政七商店さんはあくまでサポート的立場で関与をしています。

佐々さん 商品リサーチは本当に地道に、ネットの検索やアンテナショップを回るところから始めました。あとはサポートしてくれるメンターさん(中部では福井県のクリエイティブカンパニーTSGUIの代表・新山直広氏の協力を得て、展示会を見学させていただいたことも。中部担当は私を含めた3人でチームを組んでいるんですが、夜にオンラインで打ち合わせをすると、気づけば朝になることもしょっちゅうです(笑)。コンセプトづくりや仕入れ値

の交渉、収支管理まで実践的な体験をさせていただいたことは、復学してからの学びの深さにつながっていると思います。「水」というテーマで言うと、ものづくりと水質についての新鮮な発見がありました。中部地方は繊維が有名ですが、染色の過程で、木曽川のキレイな軟水が仕上がりに大きく影響することを作り手の方から伺いました。中部地方が水との関わりが深い地域だということ、活動を通してリアルに学べたと思います。

加藤さん アナザー・ジャパンは、2027年度に竣工予定の「TORCH TOWER」にこの第1期店舗をパワーアップさせた第2期店舗を開業する予定です。東京駅前を学生たちの活躍の舞台として、「私たちがつくる、もうひとつの日本」をコンセプトに、日本各地の新たな魅力を発信していきたいです。

(「アナザー・チュウブ」は2月5日まで開催。2月6日からは「アナザー・カント」がスタートします)

「水Lab.」に登場してくれる研究室を募集します。
申し込みは
water-n.com/contact/



▲こちらから!



〔特集〕

MESSAGE × Water-n

広告や、美術作品や、建造物。

過去から現在まで、人が作り上げてきたものの中には、
たくさんの「メッセージ」が含まれています。

かつての暮らしや文化がどんなものだったのか、
人々はどのように関わっていたのか。

過去にあった事件や災害のこと、そしてそれに人がどう向き合い、
どう乗り越えてきたのか。

そのメッセージの中には、今を生きる私たちが
どう世の中と向き合って、どう助け合って
生きていくべきなのかのヒントが隠されています。

水という、生きていくのに欠かせない存在を通じた
メッセージを受け取ることで、
未来を考えるきっかけにしていきたい。そうWater-nは考えます。



水を還す。

〔Water〕+〔Return〕

料理して、食べて、トイレに行って、お風呂に入る。

そのすべてに水が必要。

メールして、音楽を聴いて、おしゃれして、勉強もちょっとする。

そのために必要なモノを作るすべてに水が必要。

水は貴重な資源。大切に使わなくちゃだめ。

そんなことはもちろん分かってる、つもり。

でも、水ってどこからきて、

どうやって自然に還されてるかって聞かれると、

正直「なんとなく知ってる」ぐらいかも。

わたしたちの身の回りのすべてに、

誰かの、何かの、水にまつわるストーリーが秘められている。

それを感じながら生きることって、きっとカッコいい。

だから。

ふだんの暮らしの中に少しだけ「水」について考える時間を…

そんな思いで『Water-n』を編集しています。

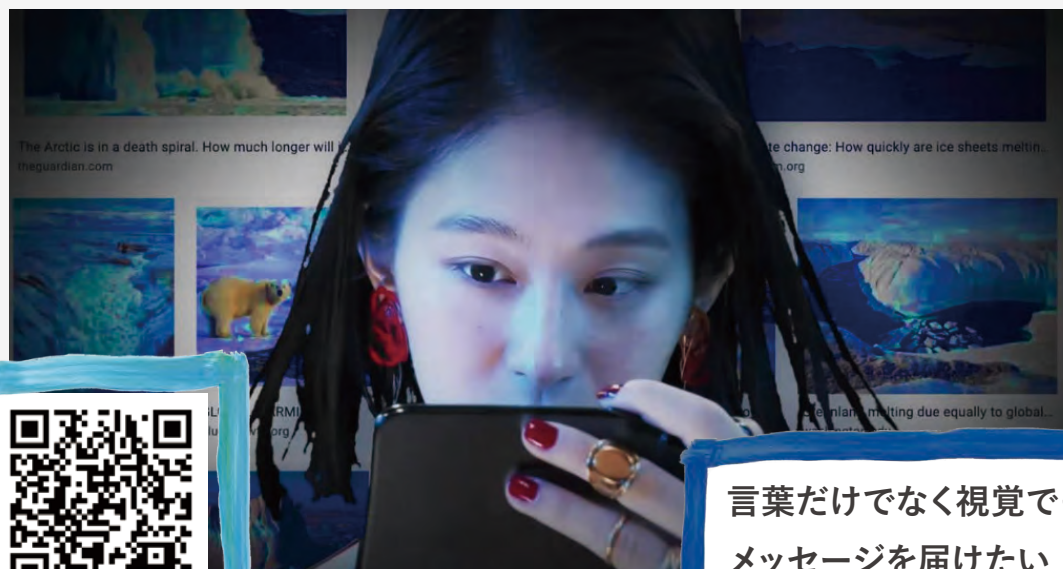
なぜ水はFREEなのに FREEじゃないの？

「HYPE FREE WATER」の活動とは、
どのようなものなのでしょう？

「FREE」とは、「自由」という意味と同時に「無料」という意味もありますよね。まず「無料」が活動をスタートするきっかけになったのが、「どうして水は本来自然から分け与えられ、無料で手に入るのに、ペットボトルで売られているのだろう？」という疑問を抱いたことでした。水は生きるためにはなくてはならないもので、だからこそ共有資産としてインフラも整備されている。なのにどうしてそれが商品(お金)になるのだろう？

そこからコムアイと村田実莉のふたりで水に関するフィールドワークをはじめ、そこで得られた学びや、新たに生じた疑問から「架空の広告」としてアート作品を作り始めました。これが活動のひとつです」

森林再生に取り組む国際環境NPO weMORIの広告映像。NFTアートとして販売されており、収益の50%がマダガスカル島の植林活動へと寄付される。NFTマーケットは、通常のエネルギー使用率の1/100程に低減できるProof of Stakeの仮想通貨Tezos Coinを使用した「OBJKT.com」を活用。



言葉だけでなく視覚でも
メッセージを届けたい



「自分たちの中に生まれた疑問や学びを、どんな人にも受け取りやすい形で提案したいというのが大きな理由です。水問題も含めた地球環境の課題は、地球全体の問題だけれど、自分ごととして考えるのは難しいと感じる人も多いため。だから、どうしても言葉だけでは伝えきれない部分もあります。ビジュアルアートという表現で、広告制作にも関わってきた村田実莉と、表現者であるコムアイの

学んだことのアウトプットとして、広告という表現を選んだのはなぜでしょう？

「はい。最初に抱いた疑問からスタートして、自分たちなりに水問題に対して一歩踏み込んでいくために、専門家や有識者に話を伺っています。海洋大学教授で水圏環境教育研究代表の佐々木剛教授には、自然環境への生活排水などの影響についても教えていただきました。やはり水について考えていくと上水についてだけではなく、排水、下水の循環についての疑問にたどり着きます。そこで、水の循環について新しいチャレンジをしているWOTAさんにもぜひお話を聞きたいと考えました」

フィールドワークの中では、「前号S「Water-n」」取材した「WOTA」(小規模分散型水循環システム)を開発した日本のスタートアップ企業のCEO 前田操介さんとも対談されていましたね。

回収した使い捨てカイロで水を浄化するプロジェクトを行う「GoGreenGroup」とのコラボレーション。江ノ島海岸のビーチに漂着したゴミを拾い、それらを活用している。



HYPE FREE WATER「贅沢な水分補給(紙パックの飲料水)Hydration Lux 3」。公園の水飲み場で優雅に過ごしている映像や、雨水を循環させている映像なども制作している。

"広告"という表現の力で
水にまつわる「疑問」を伝えていく

#HYPE FREE WATER

2020年に始まった「HYPE FREE WATER」とは、音楽活動を中心にファッションやアート、カルチャーと幅広い分野で活躍するアーティスト・コムアイと、アートディレクター/ビジュアルアーティストとして表現活動を行う村田実莉のふたりが、水を中心とした地球環境問題について発信するクリエイティブチーム。HYPE FREE WATERの活動の目指すところや、理想の未来ってどんなものだろう？ マネージメントを担当するエリンガム梨那さんに、チームについてお話を伺いました。

visual art

ふたりがタッグを組むことで、左脳（理性）だけでなく右脳（感性）に訴えかける広告表現になったのはごく自然なことかなと思います。そしてもうひとつの理由としては、いつかは水に関わる企業と協力して、課題を解決したいという想いがあるからです。ひとりひとりが「水を大事にしよう」という草の根活動はもちろん重要ですが、企業など大きな組織が動けば、問題解決のスピードも速くなります。飲料関連や、水循環に関わる企業とコラボレーションして広い層に「水の循環を考えよう、水問題を解決していこう」と訴えかけていけるようにしたいと考えています。

これまではどちらかといえば部活動的な要素が強いプロジェクトでしたが、2021年には、アースデイ（毎年4月に行われる、地球環境への支援を示すイベント）とファッション・レポリューション・ジャパン（バン格拉ディッシュのラナプラザビル倒壊事故をきっかけに、ファッション産業の在り方を考える非営利団体）が共同開催した「サステナブルファッションウィーク」のメインビジュアルをHYPE FREE WATERで担当したり、国際環境NPO weMORの広告映像として、NFT（コピーや改ざんが不可能なデジタルデータ）のアート作品を制作しました。また2022年には、池袋パルコのメインビジュアル制作とともに衣類回収ボックスを設置し、来館者の方に古

着の再利用を促す機会もいただきました。プロジェクトに関わる人たちが楽しみ、学びながらも仕事として成立させていくのも活動の大切な目標ですね」

今後、HYPE FREE WATERとして伝えていきたいことは何でしょうか？

「これは私個人の意見でもあるのですが、水はすべての事柄に関係するものですよね。そもそも人間の体は7割が水で支えられている。だから水の周りにある課題を考えることは、すべての問題の解決につながるのだと思います。だからこそ、水について知ることや、考えることは本当に面白い。地球がまだ何とかなるうちに、できることはやっていきたいと思うし、たくさんの人にその想いを伝えて、共有できたらと考えています。そしてもうひとつは、インフラに関わる人はカッコいいんだ、すごい仕事なんだということも伝えたいです。農業を仕事にしたい」とか、「酪農家になりたい」とか、仕事の選択肢のひとつとして、「水循環に関わりたいたい」というのがあってもいいと思うし、そうであるべき、大切な仕事だと思っています」



アースデイ東京とファッションレポリューション・ジャパンの共同企画にて行われたサステナブルファッションウィーク2020+1（ファッション業界の透明性や、地球環境へのアクションを訴えるグローバルキャンペーン）のキービジュアル。

世界遺産が伝える 過去からのメッセージ

文化や歴史を今に残し、普遍的な価値を持つ景観や環境であるとして、ユネスコが決定する「世界遺産」。その決定のしかたや、世界遺産になることの意義とは？ ユネスコの助言機関であるICOMOSの会長も務めた、九州大学の河野俊行教授に、そんな世界遺産へのギモンや、水と世界遺産の関わりについて質問してみました！

【世界遺産登録の条件とは】

— 世界遺産とはどうやって決まるものなのでしょうか？

「まず世界遺産への登録を希望する国から推薦書がユネスコに提出されます。そして世界遺産委員会が登録するかどうかを決定しますが、審査には専門的な知識を要するため、助言機関が必要となります。世界遺産には自然遺産と文化遺産、そしてそのふたつを組み合わせた複合遺産がありますが、自然遺産はIUCN（国際自然保護連合）、文化遺産はICOMOS（国際記念物遺跡会議）という助言機関がそれぞれ事実上の審査を行っています。実は、ユネスコの世界遺産条約で決められている条件とは、顕著で普遍的な価値（Outstanding Universal Value）があるということです。」



三池港

福岡県大牟田市にある三池港は、その築港によって石炭を海外へ直接輸出することが可能となり炭鉱業の躍進の一翼を担ったとして「明治産業遺産の構成要素」のひとつに登録された。歴史的に水はインフラ、芸術、産業、さまざまな分野で活用されたことが世界遺産からも知ることができる。

世界遺産が伝える
過去からの
メッセージ

*Messages from the past
conveyed by world heritage sites*



C

アウグスブルグの水管理システム
(By Reinhardhauke(2006)/CC BY-SA 3.0)

ドイツ・バイエルン州。ダムや運河、水路、水道、水門などを整備し、上水と中水(生活・産業用水)を分けて供給するなど、高度な水管理システムを持つ都市として発展。関連する22施設が登録されている。

F

ロワール渓谷
(By Thomas Steiner<2003>/CC BY-SA 3.0)

フランスで最も長いロワール川は、水路の発展によってその沿岸が栄えた。特に中流域には王侯貴族が140もの城を建設するなど、栄華を極めた。写真は其中でもルネサンス様式の名城であるシャンボール城。

B

ペトラ遺跡
(By Tousleso<2010>/CC BY-SA 3.0)

映画『インディ・ジョーンズ/最後の聖戦』の舞台となったことで知られるヨルダンの遺跡。東西が交わる地であるため交易で栄え、高度な水工学を持っていたと考えられる。画像はライオンを模した噴水。

E

ティボリのヴィラ・デステ
(By Dnalor_01<2005>/CC BY-SA 3.0)

ローマ郊外にある枢機卿を務めたエステ家の別荘。水をコントロールすることで500にも及ぶ芸術的な噴水を設けるなど、ルネサンス期を代表する美しい庭園。傑作であることに加え、後世にも多くの影響を与えた。

A

良渚古城遺跡
(By Siyuwj/CC BY-SA 4.0)

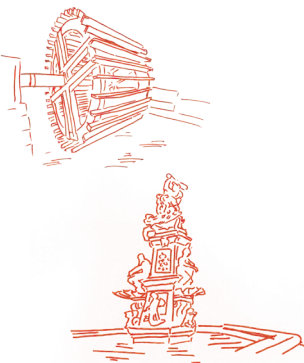
2019年に世界遺産に登録された、紀元前3300〜2300年頃に中国・長江下流域で栄えたといわれる「良渚文化」を示す遺跡。稲作を行い、ダムを作るなどで水の管理システムを確立していたのだから。

D

ラニ・キ・バブの階段井戸
(By Bernard Gagnon(2013)/CC BY-SA 3.0)

西インドからパキスタンにかけて発達したという階段状に掘られた井戸。パキスタンの国境近くにあるこの階段井戸は、約1500ものレリーフに覆われている。長い時間をかけて保存・修復作業をして世界遺産となった。

【歴史的なストーリーも大切な要素】
ー現在、世界遺産は1000を超える数が登録されています。世界遺産条約が採択された当時と現在で、変わってきた部分はありますか？
「採択の発端となったのは1960年代のエジプトのアスワンハイダムの建設計画です。このダムの建設によって、古代エジプト文明の遺跡であるヌビア遺跡が水没してしまうかもしれないという危機が明らかになり、その世界的な救済キャンペーンが行われました。このときに、世界共通の遺産」という考えが浸透していったのです。1972年の採択当時は、ラリベラの岩窟教会群(エチオピア)やアーヘン大聖堂(ドイツ)など、誰が見ても大事だと感じられるものが多かったのですが、徐々に単体の遺跡だけでなく、複数の要素から構成されるもの(シリアルノミネーション)が増えてきました。日本でいえば



潜伏キリシタン関連遺跡や富岡製糸場もそうですが、その場所をつくりあげた周辺地域の文化や、歴史のストーリーが大事になってきているのです。水にまつわる世界遺産でいえば、ドイツの「アウグスブルグの水管理システム」がいい例だと思います。水を使う場所だけでなく、給水地となる水源や、水を運ぶ運河など、水を管理するシステムそのものが世界遺産に含まれているのです。実は世界遺産の登録数が200を超えたあたりから、数が多すぎるのではないかと、という議論が行われてきましたが、個人的には増えるのはいいことだと思います。世界遺産は決してお宝をつくるためだけに登録するものではありません。もちろん、観光資源にしていこうという国や地域のモチベーションはあると思いますが、観光客が多すぎて場所が荒れるようなら制限を勧告しますし、やたらとホテルや土産物屋といったものを建てることもできません。大事なものは、それを世界的に価値があるものとして保持し、管理していくのを国が約束する、ということですか」

【身近な場所も世界遺産の候補？】

ー世界遺産から、私たちはどんなメッセージを受け取っていけばいいのでしょうか？

「世界遺産とは、目に見える歴史そのものです。本で読むだけでなく、まさにその本物が目の前にある。世界遺産の意義の第一はそれだと思っています。そして世界遺産は、世界史の教科書に載っていないなくても、大切な人類史のサンプルなのです。『世界にはこんな文化があったんだ』『こんな歴史があったんだ』と気づいてもらうことが、世界遺産の大事なメッセージです。だから、もし訪れる機会があるなら、できるだけその場所について調べてから訪れてほしいと思います。また世界遺産には、かつてその地に暮らした人々には日常的で当たり前だったものがたくさん登録されています。2019年に文化遺産に認定されたオーストラリアの「バジ・ビムの文化的景観」は一見普通の湿地帯ですが、実は先住民・グンディッジマラ族の人々によって約6000年前に開発された世界最古の水産養殖地です。この景観は彼らの子孫によって保存・伝承が行われており登録へと至りました。もしかしたら、いま自分が住んでいる場所も意外な歴史や由来があつて、のちに貴重なものになるかもしれない。そういう目線で自分の身の周りを観察してみると、きっと愛着が湧いてくると思います」



バジ・ビムの文化的景観
オーストラリア・ビクトリア州の南西部に位置するバジ・ビムは、先住民 Gunditjmarra (グンディッジマラ族)の人々が約100平方キロメートルにわたリウナギ漁の仕掛けや堰など、複雑なシステムを用いて養殖を行ってきた歴史があり、グンディッジマラ族の子孫によって伝えられ、文化的景観の価値が認められた。



「Untitled, 2021」原 美樹子



館内での展示、外部会場の展示に続く3つめの場所としてインターネット上に開設した「the 3rd area of "C"-3つめのミュージアム」。収蔵品展示や、川崎市にゆかりの作家の展示が行われている。(画像は「kanon 原 美樹子」より)



学芸員が研究分野や専門領域について紹介するオンライン講座。5本の動画のうち「入門! 修復とは何なのか-保存修復と光の関係-」と「磁気テープの応急処置とデジタル化-川崎市市民ミュージアム実践編-」では修復業務で培った学芸スタッフの知識・経験を紹介している。



川崎市では、ふるさと納税による寄附金を収蔵品の修復に活用しています。興味のある方はぜひ支援を!

美術館や博物館の役割は、展示公開することと同時に、コレクションを良好な状態で保存し、次世代に引き継ぐことも大切な役割です。しかし、展示をすれば照明や気候条件による劣化が進み、保存中も虫害被害などが起こる可能性もあります。展示と保存という相反する要素を両立させるのは、文化施設においては大きなテーマです。そして世界的な気候変動による、これまでに想定できなかった災害被害が起こり得ることを、市民ミュージアムを襲った出来事は示したといえます。しかし、起きてしまった被害をどう乗り越えてきたのか、その記録を残すことは、必ずの礎となるはず。市民ミュージアムでは、収蔵品レスキューの様子を、動画や展示などで公開していく方針を取ります。

少しずつ、そして確実に進んでいるのです。

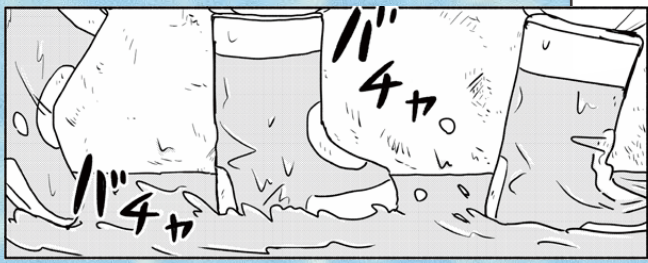
現在、川崎市市民ミュージアムは、被災リスクの少ない土地へ移転する方針のもと、新施設の基本構想が検討されています。しかし収蔵品レスキューの活動と、活動に関する展示、そしてインターネットや他館での展示などを通して、文化施設の役割を果たすべく今も活動は続けられています。大きな災害を経たことで、よりレジリエントな(回復力のある)施設に生まれ変わること、そして多くの人にメッセージを伝える役割をこれからも果たしていくことが、新しい場所では期待されているのです。

「収蔵品レスキュー」の状況を公開へ

ネットワーク形成でレスキューを進める

回復力のある文化施設へ

RESCUE!!!



収蔵品レスキューの被災漫画修復の過程と、その理念を紹介した漫画「袋につめて」(増村十七・作)。公式HPの「収蔵品レスキュー」ページにて公開中。

「都市と人間」をテーマに、1988年に開館した博物館と美術館の複合文化施設「川崎市市民ミュージアム」。写真や漫画、映像、グラフィックデザインなど近現代の美術資料が充実していることや、オリジナリティのある企画展や上映会が行われる館として、市民はもちろん多くのアートファンにも愛されていました。しかし、2019年10月に上陸した台風19号の降雨によって、川崎市を流れる多摩川の水位が大幅に上昇しました。計画高水位を超えたことで多摩川への雨水の排水量が減少し、行き場を失った雨水がマンホールなどから溢れたのではないかと考えられます。雨水は道路を覆い、やがて川崎市市民ミュージアムの地階へも大量に流れ込みました。地階にあったすべての収蔵庫が浸水し、所蔵資料約30万点のうち、約24万点が被害に遭うと同時に、空調設備なども浸水したため、同館は施設機能も停止せざるを得なくなったのです。

収蔵資料の甚大な被害



浸水被害からアートを救え!

収蔵品レスキューの歩み

川崎市市民ミュージアム

2019年10月12日に、非常に強い勢力で上陸した台風19号。各地で観測史上1位を記録したこの台風によって、「川崎市市民ミュージアム」の地階の収蔵庫にあった資料約24万点と設備類も大きな被害を受けました。現在も続く収蔵品レスキューの取り組みについて紹介します。

What is Wastewater Surveillance? 下水サーベイランスってなに？



下水中の検査によって、その地域の感染状況を把握できる
可能性がある「下水サーベイランス」

【参考】
一般社団法人 日本下水サーベイランス協会ウェブサイト
<https://jwwsa.or.jp/>

ちよつとまじめに水のこと

vol.12

Let's study
about water

下水サーベイランスとは、下水中に含まれる病原性微生物を分析してさまざまな疾病の発生や流行を把握する疫学調査手法のこと。腸の中で増殖するウイルスなどの病原性微生物は、便の中に排出されます。そのため、下水を検査すれば、その地域や集団で感染が起きているかどうか判断できる可能性があるのです。

この手法は無症状や発症前の感染者も含めた感染状況を把握できるのが特徴で、日本では2013年、ポリオ（急性灰白髄炎）の調査に利用され始めました。ポリオウイルスは感染しても9割近くが無症状ですが、感染者のうち1〜2割は運動神経が破壊され、麻痺が残ってしまいます。日本では1980年を最後に感染例は報告されていらないものの、国外では感染例が依然として報告されており、調査を始めて以降、流入下水からポリオウイルスが検出された例が実際にあるそうです。

この下水サーベイランスは、新型コロナウイルスの調査にも応用できる可能性があります。国内外でさまざまな研究や取り組みが行われています。2022年に発足した「下水サーベイランス協会（JWWSA）」は、民間企業や学識者によって結成された一般社団法人で、この技術のデータや知見について国内外から広く収集・整理し、新型コロナウイルスをはじめとした感染症の予防や対策に応用するべく活動を行っています。個人の検体を必要とせず、効率的に地域の感染状況が調査できる技術として、日本全国への普及、実装が期待されているのです。



水を還すお仕事図鑑

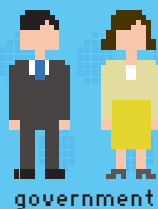
water-n picture book

使った水を還すためには、
国、自治体、企業、
さまざまな人が関わっている。
どんな仕事があるのか、
見てみよう！

world



海外の水を守る
お手伝いも
やってるよ



government

Step1

国

[国土交通省/環境省/農林水産省]

政策
(法律、予算、技術基準など)を
決定

Step2

自治体

下水道計画・
生活排水処理計画・
経営計画などを策定

コンサルタント

計画・設計・
経営などを
サポート

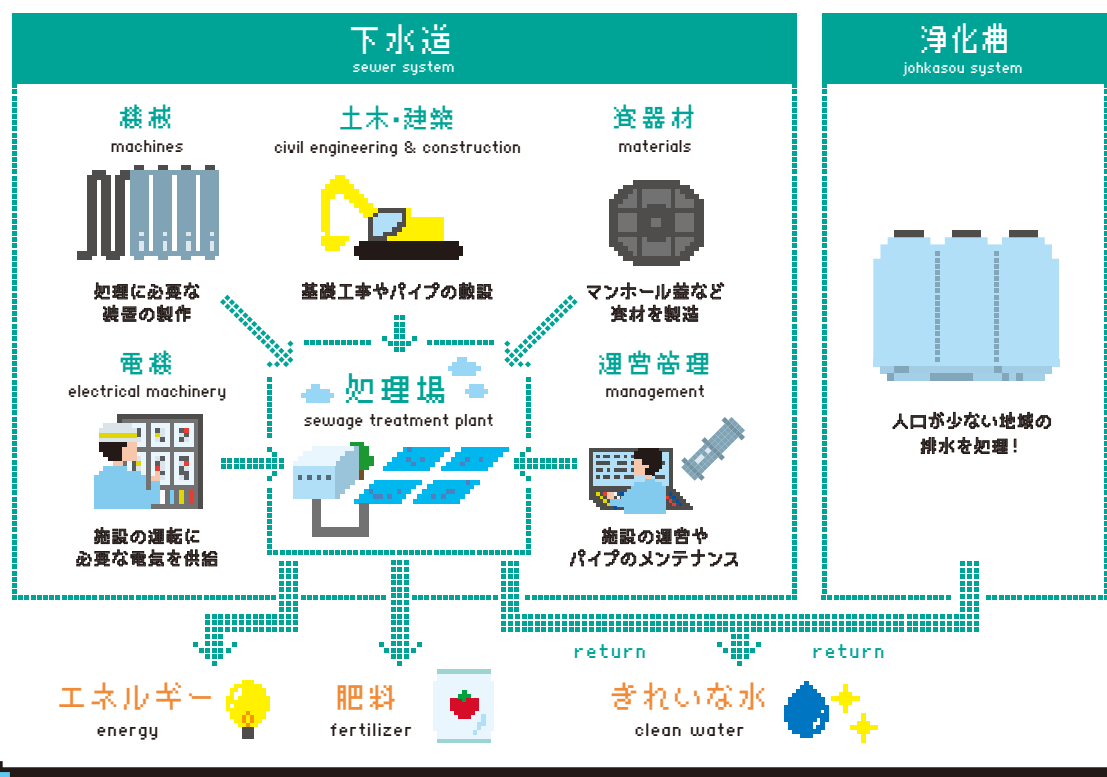


consultant

Step3

水を還す施設

Facilities for returning water



海外の水環境を
よりよくして
いきたい!



島村景さん

入社3年目。海外への排水処理
システムの営業活動や啓蒙活動
を行う海外営業部 海外営業推進課
に所属。現在はインドを担当。

学生時代は海外の農村開発について学び、インドにも訪れていたという島村さん。

水回りの住宅関連商材、浄化槽、産業排水処理など
「水」にまつわる事業を中心に国内、そして海外において
快適な生活環境の構築とともに環境保全を目指すダイキアクシス。
入社3年目となる島村景さんにお話を聞きました!

浄化槽をはじめ、水関連の事業から
日本と世界の環境保全を目指す
ダイキアクシスで海外営業を務める
先輩に直撃インタビュー!

株式会社ダイキアクシス

水を還す達人突撃インタビュー企画

第13回



H2男

(えいち つうお)

今担当しているお仕事の内容を教えてください!

浄化槽などの排水処理システムを海外に営業する、海外営業部に所属しています。浄化槽は日本だと過疎地域や山間部などに設置されるイメージですが、海外では都市部も含めさまざまな場所に設置されています。弊社ではスリランカ、ミャンマー、インドネシアなどアジア地域を中心に海外営業を行っています。私は昨年1月から主にインドを担当することになりました。現在は設置した浄化槽を現地で維持管理するための教育プログラムを作成し、トレーニングを行うプロジェクトを任されています。

仕事の中でやりがいを感じるのとはどんな時ですか?

私は2020年、つまりコロナ禍入社にあたるので、入社してから国内、海外問わずミーティングもほとんどがオンラインでしたが、昨年からはと直接現地に行けるようになりました。インドのスタッフと進めてきた浄化槽の設置現場へも伺いましたが、直接現場を見ることが直接話をするこの大切さを感じましたし、大きな達成感を感じることができました。また海外営業部というと華やかに聞こえますが、実際には現地の事情に対応するための細かな確認作業の積み重ね

これから仕事で目指したいことや展望は何かありますか?

海外への排水システムの導入は、販売するだけではなく、現地で維持管理できる環境を作るところまで責任を持って行うことが大切だと、この仕事を通じて強く感じました。学生時代にインドに行った際にも、せっかく設置したのに、動かなくなったらそのまま放置されてしまった設備を見たことがありました。現在は2カ月に一度ぐらいのペースで出張に行けるようになったので、より現地と密なコミュニケーションを取りつつ、排水システムの普及に努めていきたいと思っています。



「入社当初は水処理についてはほぼ知らなかったのですが、ミーティングについていくのも大変でした!」(島村さん)



続く!

水にまつわるむかし・いま・みらい

官民連携で誕生した 三代目・銭瓶町ポンプ所

令和4年3月、東京駅北側に位置する常盤橋街区には、「銭瓶町ビルディング」が誕生しました。このビルには、「銭瓶町ポンプ所」や東京都下水道局の事務所が入居し、都心の下水処理を行う重要なインフラとして機能しています。初代の銭瓶町ポンプ所が常盤橋に建設されたのは、昭和6年のこと。当時すでに市街化が進んでいた千代田区、中央区一帯の下水処理を担いました。その後、東京オリンピック開催に向けて、銭瓶町ポンプ所を含む街区全体が、日本初の特定街区として再開発されることになり、人口増加や建物の高層化に伴う下水量の増大に対応するため、オフィスビルである「日本ビルディング」と合築する形で再整備が行われ、昭和41年に二代目となる銭瓶町ポンプ所が誕生しました。稼働から50年以上が経過した近年、目下の課題は、銭瓶町ポンプ所の老朽化でした。ポンプ所の再構築が必要でしたが、合築ビルのためにポンプ所単体で大規模な修繕ができないことや、工事中の下水処理機能をどう代替するかといった問題がありました。解決の糸口になったのが、大手町一帯の再開発のために進められていた「大手町連鎖型都市再生プロジェクト」です。下水道局は、このプロジェクトに街区の地権者として参画し、民間の企業と連携しながら、銭瓶町ポンプ所の再構築に着手することを決定。再開発により生まれた用地に新たなポンプ所を整備することで、下水処理の機能を止めることなく、三代目の銭瓶町ポンプ所としての役割も果たす銭瓶町ビルディングが完成しました。平成29年

から令和3年にかけて、実に5年にわたる大工事でした。

銭瓶町ビルディングには、これまでになく試みも実施されています。そのひとつが、下水熱を回収し、冷暖房用の熱源とする空調システムの導入で、CO₂排出量の削減が期待されています。また、建物1階の「ぜにがめプレイス」では、下水道局とNPO法人大丸有エリアマネジメント協会とが連携。下水道事業の情報発信や常盤橋街区エリアの賑わい創出に取り組んでいます。ここでは地域産品セレクトショップの「アナザー・ジャパン」(「Water-n」参照)が運営され、併設カフェで下水道資源を活用して作られた食材「じゅんかん育ち」を使ったメニューも楽しめます。

「下水道施設のこうした整備によって、今、新たに始動しているプロジェクトがあります。それが、日本一の高さを誇るビル「Torch Tower」を中心とした新しい街区、「TOKYO TORCH」の開発です。未来のランドマークになる「TORCH TOWER」には、日本橋川の水質を改善するための雨水貯留施設が合築され、令和9年度に完成する予定です。人々の生活を支えながら、新たなまちづくりや賑わい創出の一端を担い、また、環境に配慮した設備の技術進化にも貢献する。下水道というインフラは、私たちに寄り添いながらも、時代のニーズに合わせて進化を遂げているのです。



東京駅北側に誕生した「銭瓶町ビルディング」。1階に「かめプレイス」で、カラーマンホール蓋の展示やマンホールカードの配布など下水道情報の発信も行っている。「Water-n」も配布中！

WE ARE WATER-N COMPANIES!

いい水を感じたら、私たちのことを思い出してください。
私たちは水と歩み続ける会社です。



暮らしのインフラを支え未来を拓くDNA

東亜グロウト工業



VERTEX

ベルテクス株式会社



水・廃棄物・エネルギー管理を
通じた環境サービス

VEOLIA

ヴェオリア・ジャパングループ公式
www.veolia.jp @Veolia_Japan

水が
途切れない世界を
実現する

日本鋼管株式会社
東京都中央区築地1-12-22 コンワビル
☎ 03-3546-7675

水をつくる、いかに、考える。

FUSO

株式会社フソウ



PROTECT×CHANGE

**Daiki
AXIS**
株式会社 ダイキアクシス



NJS
水と環境の Consulting & Software



M-fine 阿波製紙株式会社
MBR用浸漬膜ユニット Partner of Water

水インフラの子カに。
ISHIGAKI
株式会社 石垣

誠実を旨とし 優れた技術者を育て
良い作品を残す
Tec
株式会社 東京設計事務所

日本ノーテックテクノロジー株式会社
NNT
非開削工事のプロフェッショナル

浄化槽
システム協会 **JSA**

潤いある未来へ
株式会社 日水コン

環境技術で世界に貢献する
TSK 月島機械

すべては公益のために
**Agency
Water**
株式会社 ウォーターエージェンシー

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

NSS 日本水工設計



KOYO ENGINEERING CO.,LTD
卓越した技術と経験で、雪かきで清らかな水環境を取り戻します。

OEC オリジナル設計株式会社
MEIDEN Quality connecting the next
株式会社 明電舎

水から経済・社会・地域を考える
Webジャーナル
Mizu Design



「インフラ」「まちづくり」「環境・エネルギー」「安全・安心」「公民連携」「地域活性」「モノづくり」「ESG経営」「文化・伝統」「食」...。多種多様な社会情勢を「水」でつなぎ、「水」を基軸とした統合的な情報を発信します。すべての記事が無料で閲覧可能。ぜひ研究や仕事にお役立てください！

くらし、産業の基盤を支える 水・環境トータルソリューションカンパニー
メタウォーター株式会社 **METAWATER**

uni-flows 持ち運びできるHPLC
自社開発しました **e-HPLC ことり**
自己処理型
水洗トイレ
(株)グリーンハート・インターナショナル

極東技工コンサルタント
**EARTH
WATER
CREATOR**
www.kgc21.co.jp

HINODE
日之出水道機器株式会社
www.hinodesuido.co.jp



ただのお湯じゃない？ 正しい白湯の作り方

コンビニでも売られるようになった「白湯」。“ただのお湯じゃないの？”と思うなかれ、れっきとしたインド・スリランカ発祥の伝統医療「アーユルヴェーダ」の考えに基づく飲み物なのです。作り方は、水を火にかけて10～15分沸騰させてから50～60℃に冷ますだけ。体温を上げることで冷えの改善や免疫力アップが期待できるほか、消化促進などの効果もあるのだそう。朝、目覚めの一杯を習慣にするのもおすすめです。



都会の中の清流に 癒される

東京・世田谷区にある等々力渓谷は、谷沢川で構成された東京都23区唯一の渓谷。30カ所以上の湧水が発生するという豊かな水辺です。実際に訪れてみれば、渋谷から20分程度とは思えないほどの豊かな自然と清涼な空気に驚くはず。全長1kmほど続く遊歩道はアップダウンがあり、ちょっとしたトレッキング気分も味わえます。甘味処「雪月花」(冬季は土日祝のみ営業)でのひと休みも、趣があって素敵ですよ。

等々力渓谷
〒158-0082 東京都世田谷区等々力1丁目22-26
東急大井町線「等々力」駅より徒歩約2分

次号は2023年7月発行予定

編集後記

- 太古の昔から水は循環している。だから今日飲んだ白湯にも、クレオパトラのおしっこがちょっぴり入っている。そこからどんなメッセージを受け取りますか。(Saki)
- 川崎市市民ミュージアムの台風被害から今年で4年。新たな場所で生まれ変わるのを、いちファンとして楽しみにしています！(Aya)
- 想像以上に水関連の世界遺産が多いことにびっくり！人々が水とどう向き合ってきたかの一端を知れておもしろかったです。(Memi)
- 收藏品レスキューのお仕事について初めて知り、災害時の被害について、知らないことがたくさんあると改めて考えるきっかけになりました。(Natsu)
- 世界遺産の背景にあるストーリーを知ると、もっと面白い世界が見えてきそうですね！(Ayami)

発行日：2023年1月31日
協力：国土交通省下水道部 / 環境省水・大気環境局水環境課  Water Project
環境省環境再生・資源循環局浄化槽推進室 /
下水道広報プラットフォーム未来会

! Water-n × Culture

水にまつわるカルチャーと、Water-n 的ミミヨリ情報を紹介！

日本の世界遺産の数

25 件

参考
文化庁「日本の世界遺産一覧」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/sekai_isan/ichiran/

P.6で取り上げた世界遺産ですが、正式な名称は「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」。現存している文化遺産や自然遺産を、人類全体のための遺産として、損傷や破壊などから保護し、保存していくための国際的な条約です。1972年にユネスコ総会で採択され、発効したのは1975年。2023年1月現在は194カ国が締結しており、日本が締結したのは1992年。世界遺産の総計は1,154件で、文化遺産は897件、自然遺産は218件、複合遺産は39件。そのうち日本にあるのは、文化遺産が20件、自然遺産が5件と、計25件が選定されています。日本の世界遺産の多くは、海外の荘厳な宮殿やモニュメントと比べると一見小規模には見えるものの、自然との共生への配慮や環境負荷を低減するための工夫が高い水準で達成されているとして評価されています。海に囲まれた小さな島国で、かつ豊かな環境だからこそ生まれた自然や文化の姿。世界遺産とは、その国が歩んできた歴史そのものを目の前で見せてくれるタイムマシンのようなものかもしれません。この貴重な遺産を守り、次世代につなぐことは、私たちに課せられた大切な使命なのです。



「アンダーアース・ アンダーウォーター 地中・水中図絵」

アレクサンドラ・ミジェリンスカ &
ダニエル・ミジェリンスキ 作・絵 /
徳間書店児童書編集部訳 (徳間書店)

地中と水中に 潜ってみよう！

赤と青の表紙、どちらから開いても読むことのできる大判の絵本。赤い表紙の「アンダーアース」には、地下に巣を作る動物や、世界一深く根を張った木のこと、地下鉄の仕組み、地球の核のことなど、地面の下の世界が描かれています。青い表紙の「アンダーウォーター」には、船が浮く理由や深海に棲む巨大生物のこと、過去から今までの潜水服の歴史などなど、海の中にまつわるあれこれ、ポップなイラストとともに紹介されていて、大人もつい引き込まれてしまう1冊。宇宙にも匹敵する謎を秘めた地中&深海の世界を、ぜひ覗いてみてください。



「ようきなやつら」 岡田素雲著 (双葉社)

妖怪たちの社会は すぐそばにある

現代の日本を舞台に繰り広げられる、さまざまな妖怪の暮らしを描いた短編集。この世界の川辺には「かまいたち」や「河童」が、山には「化け猫」や「鬼婆」が住み、それぞれの生活を営んでいます。しかし描かれるのは、異質な存在がつまはじきにされる集団や、男女の不平等に苛まれる姿など、どこかで見聞きした覚えのあるものばかり。時にブラックユーモアを交えながら、妖怪たちの生き方を通して私たちの社会への問いをなげかけてきます。提灯小僧が体験した、関東大震災でのある出来事を描いた「追燈」は、“なぜ歴史を語り継がなければいけないのか”という問いへのひとつの答えが描かれているように思えます。